

大川ひでのり レポート

今年度は、文教厚生委員長、
半田常滑看護専門学校組合議員兼監査委員
を拝命しています。

大川秀徳（おおかわひでのり）

1977 年（昭和 52 年）8 月 13 日常滑市大野町生まれ。大野保育園、大野小学校、青海中学校、常滑北高校卒業の
生粋の常滑生まれ・常滑育ち。中京大学在学中に市場区で生活し、祭礼やバスケットボールでたくさんの方々と育って頂く。
平成 21 年 1 月から瀬木区鳥根で暮らしを立てる。家族構成は妻と 3 人の息子（大 1・高 2・小 2）と 1 人の娘（年中）

常滑市の未来を次なる世代へ！

令和 7 年第 1 回定例会

YouTube



施政方針について

生産年齢世代&子育て世代のど真ん中の会派「繋」の意見と、市民の皆様の声や要望をエッセンスとして質問を考えています。

議論を深め、市長が掲げる「とことん住みたい世界とつながる魅力創造都市」を一緒に作り上げていければと考えている。

市場区の
子供囃子の子と瀬木区の
若衆頭が議会だよりの
表紙を飾りました！

主な質問

- ・常滑市が中部国際空港セントレアから、引き続き好影響を受けるために、協力事業や支援事業等の連携
- ・不登校の児童生徒を対象に、専門職が家庭を訪問するアウトリーチ支援
- ・アイチスカイエキスポで開催される「アジア・アジアパラ大会」「技能五輪国際大会」に参加する選手との交流
- ・やきもの散歩道・陶磁器会館・陶芸研究所の老朽化への課題解決
- ・漁業振興への栄養塩対策
- ・避難所生活が長期化した場合の備え。トイレカーの導入、広域避難所へのマンホールトイレや直結給水できる水飲み場の整備

とこなめ議会
とことん住みたい 世界とつながる



とこなめ議会だよりの
2025
5.1
No.183



—TOPICS—
ようしくお楽しみします！
01 議会の新体制
市政を問う/
02 一般質問の答弁
議会で決まったこと/
03 審議結果・お知らせ

令和 7 年第 2 回定例会

YouTube



アイチスカイエキスポで開催される 音楽フェス（MICE）を本市の成長へつなげる戦略が重要

地方で開催される MICE の特徴

地元に協力を仰ぎながら実施し、人の移動や土地への愛着が発生し、観光や地元の食・特産品とのコラボにより経済波及効果が発生。入場チケットをふるさと納税返礼品に活用する事例もあり、シティープロモーション・寄付金・関係人口の増加が期待されます。

IG アリーナ、ガイシホールよりもアイチスカイエキスポが選ばれるための本市の協力体制と魅力（食・特産品等）の可視化を強化し、宿泊税を活用した MICE 開催のサポート助成をしてはどうか。

MICE（マイス）とは

Meeting（企業等の会議）

Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行）

Convention（国際機関・団体、学会等が行う国際会議）

Exhibition / Event（展示会・見本市、イベント）

の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

スキマフェスで販売されたコラボグッズ



令和 7 年第 3 回定例会

YouTube



衛生陶器の生産地である本市を 「トイレのまち」として尖らせてはどうか

- ① 本市は伊奈製陶株式会社（後のINAX、現LIXIL）の創業地であり、トイレなどの衛生陶器は、太平洋戦争直後の 1945 年から製造を始め、2025 年に 80 周年を迎えました。
- ② INAX ライブミュージアムに、日本のトイレ文化を発信する新たな展示館「トイレの文化館」が 2025 年 4 月にオープンしたこと。
- ③ 市内に衛生陶器を生産する会社が 3 社あること。
- ④ トイレにゆかりのある町だからこそ、生まれたユニークな和菓子「トイレの最中」があること。

